

事業実施主体名:岩美渚泊推進協議会

令和6年8月16日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	取組概要(農泊地域高度化促進事業)	取組概要(※1)
鳥取県 岩美町	令和3年度	地域一体となって岩美町の地域資源を活かした渚泊を推進し、インバウンドの誘客を中心とした地域おこしを行う。	—

(注)※1には、別表に記載の内容から該当するものを転記すること。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

目標に定めたICT環境の外国語対応、留学生を活用したコンテンツの磨き上げなどの取組については完了しているが、コロナ禍からのインバウンドの回復が見込みより遅く売上高の目標の5割に達しなかった。インバウンドの受け入れ態勢は整備されており、今後コロナ禍から徐々に回復することが見込まれることから、引き続き地域の連携を図りながら目標が達成されるよう取り組まれない。

2. 低調と評価された要因

「インバウンド延べ宿泊者数」及び「インバウンド売上高」が目標を下回る結果となったため。

3. 目標達成に向けた方策

目標とした取組はすべて完了されており、コロナ前の水準に戻すコンテンツは概ね準備されている。回復が低調な時期であるが協議会や地域の連携強化を図り、地域一体となった取り組みを引き続き行っていく。

4. 改善状況

前回の予測通り令和5年度より旅行客が増加し、「インバウンド延べ宿泊者数」及び「インバウンド売上高」はともに前年の50%前後から140%前後まで回復し目標を超過する結果となった。また、遊漁船乗船客や飲食店の利用も目標を達成し、地域一体となって取組が実行された結果であり、今後の指導は必要ないと考える。引き続きインバウンド受入をコロナ前の数値に戻すことを次の目標とし尽力されたい。

事業実施主体名:地域活性化協議会瀬戸内ユニオン

令和6年8月15日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	取組概要(農泊推進事業・人材活用事業)	取組概要(※1)
香川県 多度津町	令和4年度	地域資源を活用した食事メニューや体験コンテンツの開発。協議会の研修等を行い連携強化を図る。	—

(注)※1には、別表に記載の内容から該当するものを転記すること。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

料理メニューの開発、モニターツアーの実施等、事業計画に沿った取組は行われているが、宿泊施設の受け入れ態勢が整わず、売上高・延べ宿泊者数ともに大きく目標に届かなかった。OTAや旅行会社との連携を図り、早急に受け入れ態勢を整えること。また、誘客に向けた情報発信を積極的に行い、目標達成に向けて取組んでいただきたい。

2. 低調と評価された要因

「売上高」及び「延べ宿泊者数」のいずれも目標を大きく下回る結果となったため。

3. 目標達成に向けた方策

SNSの活用、マーケティングの強化により誘客を行っていく。直営ゲストハウスの開業により農泊合宿など多人数でのメニューが可能となるため宿泊や体験のコンテンツを磨き上げる。

4. 改善状況

協議会のホームページが開設され宿泊施設や体験、食事メニューを掲載し受け入れ態勢を整えていく中で、協力事業者との連携を増やしていつている。モニタリングで得られた意見等を反映しながら農泊事業の自走ビジネスの強化を図っている。

事業実施主体名:特定非営利活動法人しおのえ

令和6年8月15日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	取組概要(農泊推進事業・人材活用事業)	取組概要(※1)
香川県 高松市	令和4年度	宿泊施設の開業に向けたFAMツアーの実施。 農業を観光コンテンツとして開発し、地域連携を強化する。	—

(注)※1には、別表に記載の内容から該当するものを転記すること。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

当初予定した宿泊施設の開業を翌年い見送ったために売り上げ目標及び延べ宿泊者数の目標に届かず低調と評価する。この施設を早期開業し、目標達成に向けた取組を継続して実施されたい。

2. 低調と評価された要因

「売上高」及び「延べ宿泊者数」のいずれも目標を大きく下回る結果となったため。

3. 目標達成に向けた方策

食事メニューやモデル商品の開発、モニターツアーの実施や勉強会など、計画に定められた取組については目標どおりに実行されている。FAMツアー等で受けた指摘点を解決しクオリティを高めた運営を行う。観光協会と連携し、体験面を充実させたコンテンツ開発を行い運用をしていく。

4. 改善状況

当初令和4年度開業予定だった宿泊施設が5年度の開業も見送ることとなり、売上・宿泊者数とも改善には至らず目標には大きく及ばなかった。一方で、目標達成に向けた取組は計画どおり実施されており、香川県管轄の農家民宿への登録を行ったり、グリーンツーリズム事業の活用を予定するなど、積極的に取組まれている。引き続き事業目標を達成されるよう着実に実施されたい。

事業実施主体名:くだまつ農山漁村ツーリズム協議会

令和6年8月14日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	取組概要(農泊推進事業・人材活用事業)	取組概要(※1)
山口県 下松市	令和3年度	下松市の農山漁村の魅力を丸ごとブランド化、農業漁業と観光で生活ができる地域、誰もが誇りを持てる地域を目指す。	—

(注)※1には、別表に記載の内容から該当するものを転記すること。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

下松市商工会議所が中心となり体験コンテンツの開発やプロモーション活動にも協議会が一体となり取り組まれており評価できる。しかしながら、開発されたコンテンツの商品化が遅れ販売実績が上がらなかったことから低調と評価する。コンテンツの販売体制を整備し、販促活動を積極的に行い、増収に繋げていただきたい。

2. 低調と評価された要因

開発されたコンテンツの商品化が遅れ販売実績が目標を下回る結果となった。

3. 目標達成に向けた方策

下松市観光協会が窓口となり、本格的に体験プログラムの販売や販促活動をスタートさせた。また、企業の新入社員研修やイベントとのコラボレーション企画を実施した。

4. 改善状況

観光協会のホームページやオンライン販売サイトに掲載し造成した体験コンテンツの販売を始めたことで売上が着実に伸び、目標としていた売上高、延べ宿泊者数ともに達成することができた。また、インバウンド需要獲得のため、山口県主催の体験ツアーも開催されており、受け入れ態勢も整えていっている。地元農家での蕎麦打ち体験は蕎麦の実を収穫し実食するまでの農業体験へと広がりを見せ、休耕田の活用になっている。都市と農村の関係人口の増加や地域のシビックプライドの醸成にも繋がっており、今後の指導は必要ないと考える。

事業実施主体名:せとうち牛窓玉津農泊推進協議会

令和6年8月16日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	取組概要(農泊推進事業・人材活用事業)	取組概要(※1)
岡山県 瀬戸内市	令和3年度	食事と体験メニューを磨き上げ宿泊を伴う滞在型観光の創出。人材の育成を通じて農泊コンテンツのPRを行い、地域の魅力を高めて交流人口を増やす。	—

(注)※1には、別表に記載の内容から該当するものを転記すること。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

当初の目標としていた延べ宿泊者数及び売上高について、協議会構成員である宿泊事業者3施設のうち、1施設はコロナ禍で廃業、もう1施設は修繕のため休業しており達成が難しい状況である。しかしながら、令和5年度終盤より協議会活動の幅を広げ、インバウンドの受入れも念頭に置いた体制構築を進めている。また、農泊インバウンド受入促進重点地域に選定されたことから、引き続き目標が達成されるよう取組んでいただきたい。

2. 低調と評価された要因

「売上高」及び「延べ宿泊者数」のいずれも目標を下回る結果となったため。

3. 目標達成に向けた方策

令和5年度終盤より協議会体制の見直しを図るとともに活動の幅を広げ、インバウンドの受入れを念頭に置いた体制構築を進めており、新たに農泊インバウンド受入促進重点地域に選定された。

4. 改善状況

体験プログラムの販売が好調で、全体売上高が目標に対して前年度13.1%から52.5%まで伸びた。宿泊施設の運営状況が延べ宿泊者数と全体の売上に影響し低調となっていたが、閉業、退会した2宿泊施設に代わってインバウンド受入に重点を置く一棟貸し宿泊施設が新たに協議会に参画し改善を図っている。また、観光協会が中心となり農泊、エコツーリズム、アドベンチャーツーリズムなどを推進し地域全体の機運醸成に取組まれており、今後に期待できる。